

☆ほけんだより

大和保育所
令和8年8月
土澤 高橋 伊藤

川や海、プールなどで遊ぶ機会が増える季節になりました。
夏ならではの楽しみですが、毎年水辺での悲しい事故が起こっています。子どもは3cm以上の深さがあれば溺れる可能性があります。子どもは頭が大きく、力も弱いので頭から落ちると自分で頭を持ち上げたり体を持ち上げることができません。そして、音を立てずに溺れていきます。園で水遊びを行うときは、先生たちがしっかりと体制を整えて安全に注意して水遊びを楽しんでいます。
安全に気をつけながら楽しい夏の思い出をつくりましょう。

子どもは静かに溺れます

7月に発生した感染症

・アデノウイルス

つくしんぼ 1名

・新型コロナウイルス

れんげ 1名

ぶどう 1名

・水痘

ぶどう 1名

つくしんぼ 1名

病児保育の案内を玄関前に置いています。

病児保育は無料になっています。

病児保育についてお話を聞きたいかたは看護師にお気軽にお声かけください。

<心の絆創膏>

保健室には毎日、ケガをした子や具合が悪くなった子だけでなく、前にケガした傷跡が何かのきっかけで急に気になって絆創膏を貼りたい。と言って来たり、悲しいことがあったり、なんだか寂しい気持ちになった子どもたちもやってきます。

そんなときは、子どもの話をしっかり聴いて関わるように心がけています。

転んでできた傷を貼るように、悲しいことや悔しいこと、不安な気持ちになった心を癒すために園では『心の絆創膏』と呼んで絆創膏を貼ることがあります。

些細なことですが、絆創膏を貼ってもらうことで子どもたちが、自分は大切にされていると感じてもらえたらいいなと思っています。



毎年、夏になると車内で子どもが熱中症にかかり最悪の場合は亡くなってしまうという悲しい事故が多発しています。先日も熊本で車内に置き去りになった男の子が熱中症で亡くなっています。

「子どもが寝ているから」「すぐに戻るから」と、たとえ数分間でも車内に残すことは絶対に避けましょう。



☆今後の予定

内科健診 9月18日(金)9:30～／歯科検診 10月6日(火)9:00～